

## 木質バイオマス利活用研修会に参加

山形森林管理署 最上支署

平成25年10月10日最上町において、県最上総合支庁、県新エネルギー産業事業化促進協議会主催の「産業振興に資する木質バイオマス利活用研修会」が開催されたので、管内の最上地域で木質バイオマス利用がどんな状況にあるのかを勉強するために支署職員4名が参加しました。

六十名以上の参加者で開催



最上地方の企業、各自治体担当者、森林組合などの各種団体など60名以上の参加となった研修会は、最初に講演「木質バイオマスの熱利用による地域の産業振興について」((株)森のエネルギー研究所:菅野営業部長)で、①基礎知識(バイオマスの種類・特徴、利用方法)、②国内の木質バイオマス導入事例(行政・民間企業)等、木質

バイオマスが有効で資金的にも有利となっている実態が紹介されました。

次に最上町が進めている「木質バイオマスの熱利用」の現地視察(最上町ウェルネスプラザ)が行われ、木質バイオマスボイラーの性能や利用状況の説明、参加者から多くの質問が出るなど、官民間問わず事業化へ向けての強い意欲・興味を感じられたところです。

国有林としても、H23・H24にはボイラー向け



ボイラー施設見学



木質チップが自動でボイラーへ

チップ製造者に対し素材のシステム販売(H25は独自に集荷した資材が多かったため販売なし)を実施、安定的に利活用が進むよう対応してきたところであり、今後も更に利活用が進むよう協力していく考えです。